

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
日本史研究B	2	全日制・普通科・3年次	『詳説日本史』(山川出版社)				
科目の目標	<p>○(何を学ぶか) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○(どのように学ぶのか) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力・表現力・判断力)</p> <p>○(何が出来るようになるのか) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力、人間性等)</p>						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	<p>① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期試験／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の対外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	<p>① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期試験／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の対外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	<p>① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期試験／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の対外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 2週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	<p>① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期試験／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の対外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	<p>① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせる事が改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期試験／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 4週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	<p>① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせる事が改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>定期試験／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・レポート提出</p>	<p>自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

			③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	れし考察内容を究 めし合い、比較・ 検討をとおして考 察を深める。	
5月 5週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 ② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせる事が改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し て自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較・ 検討をとおして考 察を深める。	国語・情報・芸術
6月 2週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 ② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせる事が改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し て自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較・ 検討をとおして考 察を深める。	国語・情報・芸術
6月 3週 2日	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	2	① 知識・技能 産業の発展の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	通貨と銀行の整備や産業革命の開始、紡績と製糸の発達、鉄道や海運の発達、重工業の出現など、近代産業が発達する過程や、農業と農民との格差、労働運動の発生など、産業革命に付随する社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し て自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較・ 検討をとおして考 察を深める。	国語・情報・芸術
6月 4週 2日	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	2	① 知識・技能 産業の発展の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	通貨と銀行の整備や産業革命の開始、紡績と製糸の発達、鉄道や海運の発達、重工業の出現など、近代産業が発達する過程や、農業と農民との格差、労働運動の発生など、産業革命に付随する社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し て自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較・ 検討をとおして考 察を深める。	国語・情報・芸術
6月 5週 2日	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	2	① 知識・技能 産業の発展の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	通貨と銀行の整備や産業革命の開始、紡績と製糸の発達、鉄道や海運の発達、重工業の出現など、近代産業が発達する過程や、農業と農民との格差、労働運動の発生など、産業革命に付随する社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し て自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較・ 検討をとおして考 察を深める。	国語・情報・芸術
7月 1週 2日	第14章 近代の産業と生活 2 近代文化の発達	2	① 知識・技能 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 ② 思考・判断・表現 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	明治の文化と宗教の状況や教育の普及、科学の発達、近代文学や明治の美術、生活様式の近代化など、近代文化の発達状況について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し て自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較・ 検討をとおして考 察を深める。	国語・情報・芸術
7月 2週 2日	第14章 近代の産業と生活 2 近代文化の発達	2	① 知識・技能 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 ② 思考・判断・表現 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	明治の文化と宗教の状況や教育の普及、科学の発達、近代文学や明治の美術、生活様式の近代化など、近代文化の発達状況について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し て自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較・ 検討をとおして考 察を深める。	国語・情報・芸術

7月 3週 2日	第14章 近代の産業と生活 2 近代文化の発達	2	① 知識・技能 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 ② 思考・判断・表現 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	明治の文化と宗教の状況や教育の普及、科学の発達、近代文学や明治の美術、生活様式の近代化など、近代文化の発達状況について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 1週 2日	第14章 近代の産業と生活 3 市民生活の変化と大衆文化	2	① 知識・技能 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 ② 思考・判断・表現 都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	大戦景気の出現や都市化の進展、市民生活の変化、大衆文化の誕生、学問と芸術の発達について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 2週 2日	第14章 近代の産業と生活 4 市民生活の変化と大衆文化	2	① 知識・技能 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 ② 思考・判断・表現 都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	大戦景気の出現や都市化の進展、市民生活の変化、大衆文化の誕生、学問と芸術の発達について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 3週 2日	第16章 占領下の日本 1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 4週 2日	第16章 占領下の日本 1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 1週 2日	第16章 占領下の日本 1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 2週 2日	第16章 占領下の日本 1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術

10月 3週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。	定期試験／提出課題 ／発問評価	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 4週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。	定期試験／提出課題 ／発問評価	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 5週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。	定期試験／提出課題 ／発問評価	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 2週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。	定期試験／提出課題 ／発問評価	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドルショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。	定期試験／提出課題 ／発問評価	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 4週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドルショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。	定期試験／提出課題 ／発問評価	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 5週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドルショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。	定期試験／提出課題 ／発問評価	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

12月 1週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 2週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 4週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 2週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 4週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題 ／発問評価 定期試験／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

1月 3週 1日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	1	<p>① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。</p>	定期試験／提出課題 ／発問評価	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 5週 1日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	1	<p>① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。</p>	定期試験／提出課題 ／発問評価	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
指導時間数の計		70					